森林環境譲与税に関する決算調査（調査表）

（ⅰ）団体コード	（ⅱ）都道府県名	（ⅲ）市町村名	（ⅳ）事業区分	（ⅴ）事業名	（ⅵ）事業総額（千円）			（ⅶ）当年度基金への積立額（千円）	（ⅷ）事業内容	（ⅸ）針広混交林化、広葉樹林化に関係する事業は「○」を選択	（ⅹ）実績																			（タ）その他	（xi）税導入の効果
											森林整備関係								人材育成・担い手確保対策					普及啓発（イベント等）			公共施設等の木材利用				
					（A）+（B）	（A）うち令和元年度の森林環境譲与税（千円）	（B）うち他の財源（千円）				（ア）意向調査実施面積(ha)	間伐等実施面積			路網整備			（ク）その他	（ケ）事業体等への助成		（コ）研修、講習、求人イベント等		（サ）その他	（シ）研修や普及啓発イベント等		（ス）その他	（セ）公共施設等の木材利用		（ソ）その他		
												（イ）間伐（ha）	（ウ）除伐（ha）	（エ）その他（作業種、実績値を記載）	（オ）林道・林業専用道の開設延長(m)	（カ）森林作業道の開設延長(m)	（キ）その他（作業種、実績値を記載）		事業体数	支援対象者数（人）	回数（回）	参加者数（人）		回数（回）	参加者・体験者数（人）		施設数	木材使用量(m3)			
073679	福島県	只見町	③ 私有林整備	森林環境譲与税事業	3,744	3,744	0	3,744	私有林における間伐等の森林整備を実施する（町による直接発注）。		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	【ワンフレーズ】 税の交付により、次年度以降「只見ユネスコエコパーク」の理念である”人間と自然の共生”の目標達成に向け、税を活用した森林整備等の計画づくりに寄与している。 【詳細】 令和元年度は全額基金に積み立てを行った。当町においても従来活発に行われていた森林整備や森林資源の活用が衰退している。このことにより森林崩壊や森林病害虫の蔓延、森林景観などの公益的機能の衰退を招いている。その様な中、平成26年只見町は、人間と自然の共生するモデル地域として、「只見ユネスコエコパーク」として登録となったことから、自然環境・生物多様性の保護・保全や持続可能な森林資源等の活用による地域社会経済の発展を進めるため、荒廃した森林整備の推進や整備で出た間伐材の利用、普及啓発等を進めていく。